

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2024年7月1日 250号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 第11回 パクー稚魚放流式典

2024年6月5日



●式典で南北米福地開発財団の活動に感謝の意を表すバイアネグラ市長フェレイラ氏。



●稚魚放流は環境保全の教育的効果もある。



●稚魚の成長と繁殖を願いつつ放流する。中央に岩澤春比古園長。



●式典会場の設備、来賓招待、事前広報などは市が担当。

市・アスンシオン大学・当会の共催で

【日陽園（レダ）岩澤春比古園長より】

6月5日、レダ基地からパラグアイ川の上流60kmに位置するバイアネグラ市で、市とアスンシオン国立大学そして南北米福地開発財団が共催してパクーの稚魚5千匹を約2百人の市民と一緒にパラグアイ川に放流した。6月5日は世界環境デー。この日に世界最大の湿原パンタナールの玄関口にあるバイアネグラ市でこのような放流式を持てたことは大変意義深かった。乱獲などにより毎年少なくなってきた在来魚パクーの放流はとりわけ地元の人たちから大変喜ばれ感謝された。準備 今回の放流式の準備作業は、昨年の12月レダにおける人工孵化の成功から始まった。3年かけて育てた親魚から卵を取り出し2回孵化を試みたが、2回とも成功し、20万匹以上の稚魚が生まれた。比較的順調に稚魚が成育する中、今年も全体で3万匹の稚魚を放流することを決定した。

バイアネグラ市との連携 今年はどこで放流式を行うか検討する中、バイアネグラ市のジョアン・フェレイラ市長に連絡したところ、バイアネグラで行いたいとの返事をもらった。その時市長から環境省、観光省からも役人を呼んで6月5日の世界環境デーに式典を行ってどうかと提案され、その日に行う事を決めた。その後市長と打ち合わせの中で、放流する稚魚、皆にスナックとして食べてもらうパクーの準備は、南北米福地開発財団が責任を持ち、バイアネグラ市の教会、学校、市議会議員、海軍、警察、一般市民などへの招待、横断幕、旗、会場の音響、テント、椅子などの準備は市の方で責任を持つことを決めた。

放流許可取得 アスンシオンでは当財団事務局長の中井さんが放流許可を環境省から取り、またアスンシオン国立大学獣医学部水産学科の教授が式典に参加できるよう手配をした。（次面につづく）



●放流式典であいさつする岩澤春比古園長。創造主の言葉も交えて。6月5日



SNAP

●稚魚担当のチャパボラ生が喜びの放流。6月5日



●放流前の稚魚を入れたプール、興味津々の子どもたち。



●放流式典を終えて、楽しく食事会。パクーが美味しい。



●放流式より一足早く、レダで稚魚を放流しました。6月3日



●放流式の前日、レダの養殖池で稚魚を水揚げしました。6月4日

**放流式**（一面よりつづく）

**稚魚の運搬** 6月4日、放流式の前日は、早朝、稚魚の水揚げをし、4000匹をグッドゴー（ボート）で、残り1000匹はトラックで6〜7時間かけてバイアネグラまで運んだ。バイアネグラの式典会場となる川辺に予めプールを準備し、稚魚を入れたのだが、長旅にもかかわらず、1匹も死んでいなかった。

**飛行機** 6月5日、放流式典の当日。この日、空軍（セタム）の飛行機が元々アスンシオンからバイアネグラまで飛び予定であったが、フェレイラ市長の働きでVIP用に10席が確保された。また放流式典の時間に合わせ、往復の飛行スケジュールも変更された。

**放流式典** 朝9時半、アスンシオンから環境省、観光省、空軍のVIPが到着し、式典が始められた。まず初めに私が挨拶をし、次にフェレイラ市長、アスンシオン大学の准教授、そして環境大臣代理のアダム氏が祝辞を述べた。私は創造主なる神様がアダムとエバに最初に与えた言葉が三大祝福の

御言葉であり、私たちは正しく万物を主管する責任があることを話したが、一番前で聴いていた環境省のアダム氏とカソリック教会のシスターたちが感銘を受けたようだった。アダム氏は、世界環境デーにパラグアイの北端の町、かつパンタナールの入り口であるバイアネグラ市でのパクーの放流式に参加できたことを大変感謝していた。

**放流** 祝辞の後、いよいよ稚魚の放流を始めた。とりわけ印象的だったことは、放流し終えた後、皆が満面の笑みを浮かべていたこと。放流し終えた後、参加者たちは、市の職員が揚げたパクーの切り身のスナックを食べ、談笑し、心情交流をして全てのプログラムを無事終えることができた。

**感謝** 今回ジョアン・フェレイラ市長が放流式の意義をよく理解した上で、全てに責任を持って式典を執り行ったことに心から感謝したい。彼は祝辞でも一切彼自身の事は話さず、南北米福地開発財団の活動に感謝を述べていたことが大変印象的だった。岩澤春比古



ハロサント

ここを「住みかの森」と命名。6月10日



プロジェクトの実行と未来への継続のために、ご支援をお願いいたします。送り先は、当法人の口座（次面下段）へお願いいたします。募集期間は7月31日までです。お問い合わせ等は当法人事務局まで。

パラグアイ最大の全国紙「ABC」は3月18日号で「第4次レダプロジェクト体験ツアー」に参加した青年たちの奉仕活動を取り上げ、「模範を示す若者たち」と大きな見出しを付けて報じました。

【記事要約】アルト・パラグアイ州フエルテ・オリンプ市の高校は、校舎のメンテナンスのための塗装を州や市の当局に何年も要請してきたが、前年の回答を得られなかった。そこで南北米福地開発財団(当会の現地法人)

●現地コーディネーター  
佐野氏談…奉仕グループの青年たちが熱心な仕事ぶりを最初から最後までつぶさに見たのが校長のレオナルド・レスカノ先生です。閉会式で「彼らは、誰一人として手を抜かず、全くさぼらない、模範的な青年たちだ」と、生徒と市民たちの前で称賛。この催しを取材したABCの特派員がパラグアイ全国に伝えました。

模範を示す若者たち

# ABC新聞が伝える

紙「ABC」は3月18日  
号で「第4次レダプロジェクト」

が必要な資材の購入費と職人の工賃を負担し、3月7日～8日の両日、ツアーの青年たちと地元高校生たちが共同で、塗装の奉仕作業をした。





マリア村より



← パラグアイ川 ←

- 高圧(13200V)
- 高圧ヒューズ
- 変圧器(13200V→220V)
- ANDE低圧引き込み線(220V)
- 低圧(220V)
- 低圧屋外ブレーカー
- 低圧地中配線(220V)
- ポンプ
- 給水タンクフロートスイッチ信号線
- ポンプ駆動用電源
- ポンプ用ブレーカー

レダ基地の配線マップ

いつもご愛読? いただきありがとうございます。ご愛読いただいたの、か自信はないのですが、とりあえず挨拶させていただきます。レダの電気屋さんとして、少し硬い話をさせていただこうかと思っています。

それは、設備の老朽化についてです。老朽化そのものは、以前から発信しているのですが、ご理解いただいている方も多くかと思えます。発電機もとうとう修理できなくなり、新しい発電機を導入することとなったのも記憶に新しい出来事です。

そのこと自体は大変ありますが、本

来レダの目的から考えたときに、老朽化して使えなくなった設備を同等品で置き換えるだけで良かったのか? という疑問が残ります。

電気屋さんを名乗る私ですが、実は弱電の人間ですので、電力設備については全くの素人です。ですので、AND Eの電気を安定させるにはどんな設備が良いのか、また、例えばソーラー発電を入れるとしたらどのような形で進めれば良いのか、そのようなことを考えることができません。

今回レダ基地の配電マップを作成しました。何かご意見をいただければと思います。

「山崎@レダ」というライングループで細かな情報を発信しています。※ラインで年齢認証ができないと、このQRコードからは参加できません。その場合は他の参加者から招待を受けてください。

山崎茂章



## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

## レダ・プロジェクト紹介 用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>

## レダのショート動画

1. 放流式用の稚魚を集める。..... 6月4日
2. 放流式用の稚魚を選別。..... 6月4日
3. 稚魚をトラックに積む。..... 6月4日
4. レダで放流する大元氏。..... 6月8日

